

西日本インカレ（合同研究会）2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ) フクオカジョウクインダイガク	フリガナ) ジンブンガクブ	フリガナ) ウキタ
福岡女学院大学	人文学部	浮田 ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 (代表者含む)	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ) アウル	フリガナ) タナカ サキ	4	無
OWL	田中 佐季		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

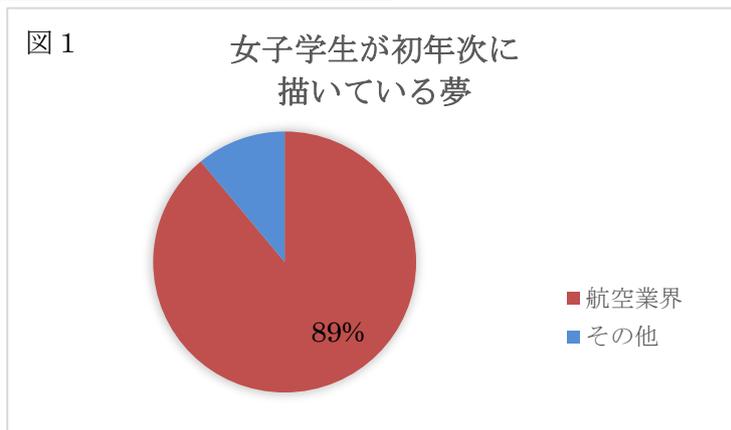
使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）
・パソコン ・クリッカー

研究テーマ（発表タイトル）
世界一の非売品 エアライン研修 CLASS J -企業は地道な情熱を求めている-

※必ず「企画シート作成上の注意」を確認してから、ご記入をお願いいたします。

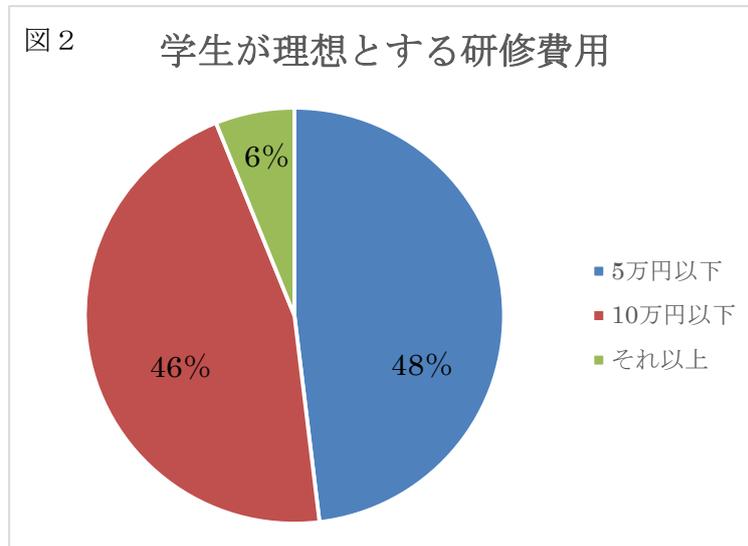
1. 研究概要（目的・狙いなど）

女子学生の多くが図1のように将来就きたい職業としてエアライン業界を挙げています。その実現のためダブルスクールやエアライン研修を受ける学生がいます。しかし、その費用は高額でとても負担となります。さらに、見学と体験が中心となっているためか、企業の本質を知ることが出来なかったという意見があります。そこで私たちは、夢実現のため自分たちの力で研修を考案する。この発想から調査研究を行うことになりました。



2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

現在行われているエアライン研修を調査すると約 10 万円から 20 万円と私達学生にとっては高額です。研修費用の理想とする金額はいくらなのかというアンケートでは図 2 のように 10 万円以内が多く見られました。また、意外にも見学と体験型重視のものに対して、本質を知ることができる学習も取り入れて欲しいという意見もありました。全体的に見ると本学で行われている研修も同様に、多くの研修には座学が少なく、現役社員の方から講義として学習することは、ほとんどないということが分かりました。



3. 研究テーマの課題

研究テーマは3点です

- ① 学生目線の安価で充実した研修の考案
- ② 見学体験型学習ではなく、業界の本質を学べ、効果が可視化できる研修の考案
- ③ ②をふまえて現役の社員の方の講義を組込む、施策

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

企業側と対等に交渉するためにデータを収集しました。他の研修との違いを引き出すための施策として、現役社員の講義を相当数設けるという差別化を行いました。さらに、企業側の求めている、若年者の利用意向を増やす、これに連動させるようにCS分析などを参考に、投資いただける内容にPDCAを回転させました。

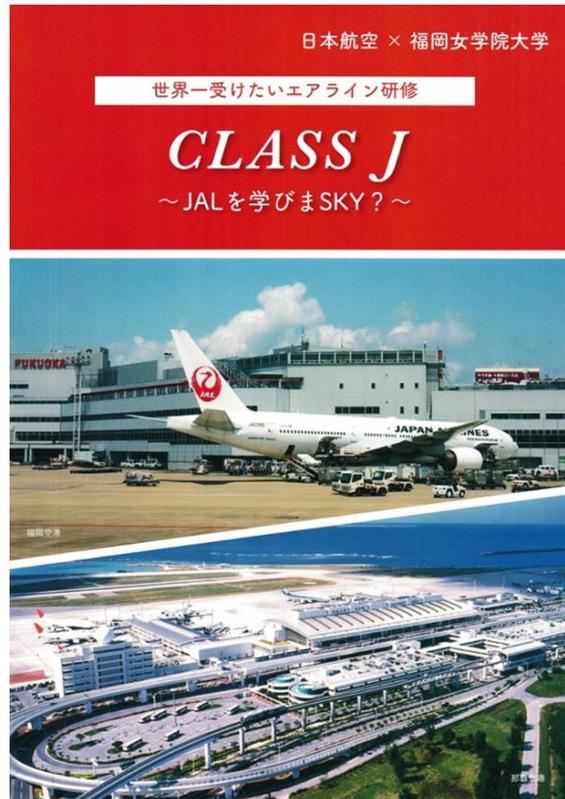
5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

- ① アンケート実施
 - 配票調査 女子学生が初年時に描いている職業
 - 配票調査 学内研修について

6. 結果や今後の取り組み

9月に福岡空港で3日間、那覇空港で3日間の研修を行いました。専門的な座学と毎回のテストに落伍者もなく無事終了できました。受講生の満足度はポートフォリオで、毎回の変化と最終的な高い満足度が確認できました。流通させるには価格やJAL側の支援体制などまだ詰めなければならない箇所が多々ありますので、改善を行います。そして利益がでるようなCLASS Jにし、非売品という文字を外していきます。

図 4



7. 参考文献

- ・『問いかける技術』 エドガー・H・シャイン 英知出版 2014年11月26日
- ・『激動社会の中の自己効力』 アルバード・バンデューラ 金子書房 1997年11月10日
- ・『GRIT やり抜く力』 アンジェラ・ダックワース ダイヤモンド社 2016年9月6日
- ・『マネージャーの実像』 ヘンリー・ミンツバーグ 日経BP社 2011年1月26日
- ・『その幸運は偶然ではないんです』 J.D. クランボルツ A.S. レヴィン ダイヤモンド社 2012年4月5日
- ・『ワークショップ・デザイン』 堀公俊 加藤彰 日本経済新聞出版社 2014年6月5日
- ・『チーム・ビルディング』 堀公俊 加藤彰 加留部貴行 日本経済新聞出版社 2013年5月15日
- ・『ビジュアル・ストーリー型プレゼンテーション』 浮田ゼミ著者 梓書院 2015年5月5日

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合は、必ず著作権、権の使用許諾を得てください。日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず使用するツール名をご記入ください。企画シートにご記入が無い場合は、発表当日の使用はできません。あらかじめご了承ください。

↑ここまでを4ページ以内に収めて、提出してください↑